



香川大学

香川大学から保護者の皆様へ

# OLIVE 通信



2022.10



香川大学 副学長  
(国際戦略・グローバル環境整備担当)  
原 直行

令和4年4月から香川大学では第4期中期目標・中期計画が始まりました。私が所掌している国際戦略・グローバル環境整備関係では、中期目標「様々なバックグラウンドを有する人材との交流により学生の視野や思考を広げるため、性別や国籍、年齢や障害の有無等の観点から学生の多様性を高めるとともに、学生が安心して学べる環境を提供する」、その中期計画「学生に多様性の理解を促すため、留学・海外研修(オンラインを含む)等の交流活動に加えて、地域と連携した取組等により、グローバル教育環境を拡充する」を担います。上記の中期目標・中期計画の実現のため、以下の2つに取り組んでいます。

①受入留学生数、派遣日本人学生数、海外研修・海外インターンシップ参加学生数の増加:令和9年度末実績を第3期(平成28年度~令和3年度)平均436名と比べて30%増加

これは第3期中期目標・中期計画の後継的な取組です。

第3期の平均は436名でした。第4期の最終年度である令和9年度末にはその30%の増加である567名を目指します。具体的にはコロナの国内・海外における状況を見極めながら、留学生受入及び日本人学生海外派遣をともに推進していきます。今年度は4月~8月末までに、受入留学生数128名、海外派遣日本人学生数37名となり、9月以降もさらに増えていきます。また、海外協定大学との国際共同講義や国際シンポジウムを開催し、海外および日本人学生の参加を増やします。

②地域のステークホルダーと大学とが連携して実施するグローバル教育プログラム数の増加:令和9年度末実績を令和3年度末実績3件と比べて30%増加

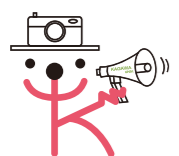
地域との連携はこれまで本学は熱心に取り組んできましたが、グローバルとの関係では少々取組が手薄でした。そこで第4期では、4件以上のグローバル教育プログラムを実施します。早速、今年度から地域のNPOや住民団体と連携しながら、本学の留学生・日本人学生が瀬戸内海の家ゴミ問題の解決を目指して、教室での英語による講義と瀬戸内海での海ゴミ回収と実態調査を行う授業が新たに始まっています。

今後も様々な連携を通じて、引き続き国際交流を推進していきます。

香川大学では、学生生活支援課が中心となり、新入生を応援するうどんの提供と全学生対象の応援企画としてカレーを提供いたしました。(数量限定で無料提供)。また、香川大学生に対して平素多方面よりご支援をいただいております。ここに学生達の笑顔をピックアップしてお届けするとともに、ご支援をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

- ・ KDDI(株)四国総支社 様
- ・ 一般社団法人 桜会 様
- ・ 柴田農園 様
- ・ 高松市社会福祉協議会 様
- ・ (株)三宅農園 様

R4.4~R4.9間にご支援をいただいた各社 50音順



香川大学生の最新情報はこちらをチェック!



Facebook



Instagram



Twitter



YouTube



大学ホームページ



SDGs ACTION